

■（５１）最も書きたくない記事は…

最も書きたくない記事は「訂正」だ。間違った情報を載せたふがいなさや反省から、パソコンのキーボードをたたく指の動きも鈍くなる。謝罪しても、失う信頼は大きい。

間違いの多くは、思い込みや勘違いからだ。登場人物の年齢を「この前書いたときに○歳だったから」と書いてしまう。ところが、直前に誕生日を迎えていたりする。電話取材も怖い。受話器の向こうの相手に名前の表記を説明してもらった時、「江戸の江」と「井戸の井」を聞き間違えそうになったこともある。パソコンの変換ミスも要注意だ。

防止策はやはり、取材の原点に戻るしかない。人に年齢を聞いたら生年月日も確認しておく。相手に名前の文字は、場合によっては相手にメモに書いてもらう。文章やデータを引用した場合は、書いた後でもう一度、元の資料でチェックする。そもそも思い込みや資料の読み間違いを排除するために、別の記者にも点検してもらい、訂正根絶を目指す。

さて、新聞が小学校の国語などで扱われるようになって半年。子どもらは少しは関心を持ってくれているでしょうか。教室からの素朴な疑問やテーマの提案をお待ちします。(山)